

イベント開催時のチェックリスト

様式2

【山梨県第1版（令和3年11月版）】

開催概要

本項目では、チェックリストを記入する前に、イベントの情報をご登録ください。

イベント名

第33回全日本大学アルティメット選手権大会 関東地区予選

(開催案内等のURLがあれば記載)

出演者・チーム等

別途「出場チーム」に掲載

(多数のため収まらない場合 → 別途、一覧をご提出ください。)

開催日時

令和4年9月3日～9月18日

(複数回開催の場合 → 別途、開催する日時の一覧をご提出ください。)

開催会場

山梨県山中湖村 井戸前旅館

会場所在地

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野460

主催者

一般社団法人日本フライングディスク協会

主催者所在地

東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 901

主催者連絡先

(電話番号)
03-6434-0721(メールアドレス)
event-alljapan@jfda.or.jp

収容率(上限)

100% (※)
(大声なし)人と人が触れ合わない
程度の間隔50% (※)
(大声あり)十分な人と人との間隔
(できるだけ2m、最低1m)

収容人数

屋外のためなし

参加人数

各日程 約300

人

その他特記事項

・参加チーム代表者への配布資料等による周知・会場内での掲示・会場内での注意喚起

(大声なしの場合は、大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載ください。)

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」としこれを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものと整理する。

感染防止策チェックリスト

【山梨県第1版（令和3年11月版）】

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底



【大声なしの場合】

- ・飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用や大声（※）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。

（※）大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。

【大声ありの場合】

- ・「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。

②手洗、手指・施設消毒の徹底



- ・こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施）。



- ・主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施

③換気の徹底



- ・法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分間以上等）の徹底

④来場者間の密集回避



- ・入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施



- ・休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築



- ・大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保

感染防止策チェックリスト

【山梨県第1版（令和3年11月版）】

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

⑤ 飲食の制限

- 飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底
- 飲食中以外のマスク着用の推奨
- 飲食中の会話、発声の自粛、移動中の飲食の自粛
- 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛
- 自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討）
- 飲食提供者は不織布マスクを着用（フェイスシールドのみは不可）

⑥ 出演者等の感染対策

- 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
- 練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
- 出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く。）。

⑦ 参加者の把握・管理等

- チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握
- 入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。
- 時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起
- 催物前後の飲食及び宿泊時のやまなしグリーン・ゾーン認証施設利用の呼びかけ
- イベントで感染者が発生した場合、迅速・確実に参加者に保健所等への相談を促すとともに、保健所が実施する疫学調査へ協力

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定

※全ての黄色セルに必要な事項を記入してください。

作成年月日

令和4年7月4日

1. イベントの情報

本項目では、チェックリストを記入する前にイベントの情報を記入してください。

イベント名称	第33回全日本大学選手権大会 関東地区予選				
開催日時	2022年9月18日		～	2022年9月19日	
開催場所	会場名	茨城県ひたちなか市 国営ひたち海浜公園			
	住所	〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡 字大沼605-4			
収容定員	<input type="checkbox"/>	人		<input checked="" type="checkbox"/>	収容定員なし
収容率 (上限)	<input checked="" type="checkbox"/>	100% 【大声なし】		<input type="checkbox"/>	人と人が触れ合わない程度 の間隔【大声なし】
	<input type="checkbox"/>	50% 【大声あり】		<input checked="" type="checkbox"/>	十分な人と人との間隔（できる だけ2m最低1m） 【大声あり】
参加人数（予定）	全日程の合計 想定参加人数	延べ 約600人			
	1日あたりの最大 想定参加人数	約300人	最大時の収容率 (自動入力)	#VALUE!	
出演者・チーム等	別途「出場チーム」に掲載				
主催者 情報	団体名	一般社団法人日本フライングディスク協会			
	住所	東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 901			
	現在の 電話番号	03-6434-0721	メール アドレス	event-alljapan@ifda.or.jp	
	イベント終了後の 電話番号	同上			
その他の 特記事項	・参加チーム代表者への配布資料等による周知・会場内での掲示・会場内での注意 (大声なしの場合は、大声無しと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な 対策を記載ください。)				

(※) 大声の定義を「客が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものとする。

2. 基本的な感染防止

イベント開催時には、以下の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底

- 飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（不織布マスクを推奨）の正しい着用や大声（※）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる

（※）大声の定義は「客が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とする

【大声ありの場合】「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。

②手洗、手指・施設消毒の徹底

- こまめな手洗やアルコール消毒による手指消毒の徹底を促す。
（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液設置や場内アナウンス等の実施）
- 主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施。

③換気の徹底

- 法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又は、こまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分以上）の徹底

④来場者間の密集回避

- 入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施
- 休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や導線確保等の体制構築
- 大声ありの場合は「前後左右の座席との身体的距離」、大声なしの場合は「人と人が触れ合わない間隔」の確保

⑤飲食の制限

- 飲食可能エリアにおける感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底
- 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。ただし、発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。
- 飲食中は、マスク無しでの会話禁止を徹底
- 自治体の要請に従った飲食・酒類の提供（飲酒提供時は、大声等を防ぐ対策を検討）

⑥出演者等の感染対策

- 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常からの出演者（演者・選手等）の健康管理を徹底する。
- 練習時等、催物開催前も含め、声を発出する演者間での感染リスクに対処する。
- 出演者（演者・選手等）と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる。

⑦参加者の把握・管理等

- 「5つの場面」の注意喚起や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起
- 入場時の連絡先確認やCOCOAアプリ等を活用した参加者の把握
- 入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払い戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止し、有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常からの出演者（演者・選手等）の健康管理を徹底する。